

地域と企業の発展を目指して

アイオー信用金庫第11回新現役マッチング交流会



冒頭ご挨拶される高橋常務理事

2023年10月23日、群馬県を基盤とするアイオー信用金庫が新現役交流会を開催しました。冒頭、高橋弘之常務理事の「企業支援を強化するために群馬県で初めて新現役交流会を開催し、今年で第11回を迎えました。この交流会はアイオー信用金庫の企業支援の柱として位置付けており、これからも地域と企業のさらなる発展のために取り組んでいきます。」との力強い挨拶から始まりました。

つづいて新現役交流会サポート（SKS）代表理事保田邦雄が当日の進行と留意事項を説明した上で、「新現役交流会は、①企業・新現役・金融機関が三者対等の立場で守秘義務を守って真摯に課題に向き合うところがポイントである。②新現役は会社生活で得た専門知識や経験を社会に還元したいというボランティア精神から自ら手を挙げて自費参加している。③また開催金融機関である「アイオー信用金庫」が、地域の発展と貢献／企業支援のため交流会開催に半年以上もかけご努力いただいている。こうしたことも十分に踏まえて忌憚ない議論をしていただき、大きな成果に繋がることを期待しています。」と述べました。

東京圏＝遠方から一日をかけて参加された新現役も多い中、面談では各新現役は事前配信された企業課題を分析し、それぞれの専門や経験から何をキーポイントとして捉え、どのようにアプローチするかを、レジュメやノートパソコンを使って熱心に説明し、社長の熱い思いを引き出していました。



説明をする保田SKS代表理事

面談の終わった社長の方々に感想をお聞きしたのですが、ある社長は「5名の新現役からテーマ／課題についてアドバイスとご意見をいただき、いくつも大きなヒントになりました。直ぐにでも取り入れたい内容があり、とてもありがたく思います。」「一つの課題に対して新現役各々から異なる切り口で多彩な対応策が提案されました。こんなにも多様な考え方があるのだと驚きました。わたし（社長）一人では思いもつかない提案を聞くことができ、勉強になりました。」と表情も明るく話しておられた姿が印象的でした。

こうした成果を挙げるために、アイオー信用金庫職員による企業社長への制度案内に始まり、開催に至るまで数ヶ月におよぶ準備には多大なご苦勞があったと思われまます。「長年にわたる同金庫のご努力と地元／企業の発展への熱意」に各社社長にはあらためて感じ入った様子が見えられました。

文＝保田



熱い議論が交わされる会場